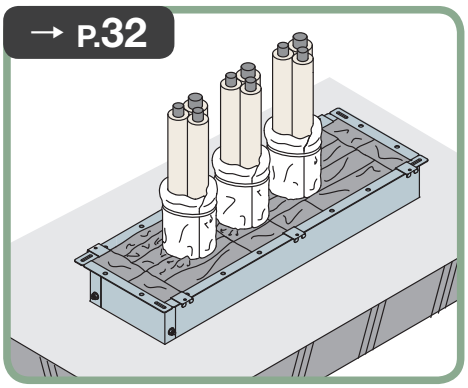
2 建築配管貫通部用

空調冷媒管（排水管）	ロクマル マットキット	32
	イチジカンAPK	38
	イチジカン耐火パック2（ツー）	40
	イチジカン-耐火パック	42
	ニジカン-APW	44
	ニジカン-APF	45
給湯／給水管	イチジカン-HOLD（品番HD-S、HD-L）	46
	イチジカン-HOLD（品番HD-LL）	48

NEW ロクマル® マットキット

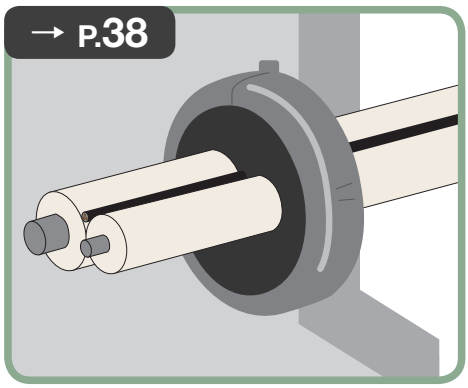
→ P.32



国土交通大臣認定取得

NEW イチジカン®APK

→ P.38



国土交通大臣認定取得

NEW イチジカン®耐火パック2（ツー）

→ P.40

国土交通大臣認定取得

空調衛生設備配管用

ロクマル® マットキット

工法表示ラベル 製品に同梱

※紛失または再施工時の場合は、イントロ-4をご参照ください。

壁	RC	ALC	中空壁	片壁	ケーブル	合成樹脂製可とう電線管 PF管	合成樹脂製可とう電線管 CD管	バスダクト	鋼製電線管	冷媒管	給排水管	FEP
床	RC	ALC	—	—	ケーブル	合成樹脂製可とう電線管 PF管	合成樹脂製可とう電線管 CD管	バスダクト	鋼製電線管	冷媒管	給排水管	FEP

国土交通大臣認定

【壁】PS060WL-0756
【床】PS060FL-0772

適用開口部サイズ　壁・床：**0.75m²以下**

■特長

①配管をまとめて省スペース化

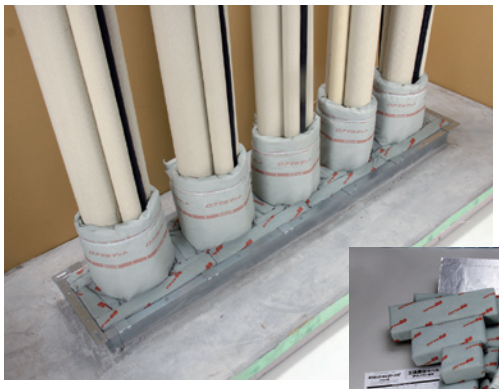
配管の束は、φ180mm相当まで束ねられるので、省スペース化が図れます。

②優れた施工性

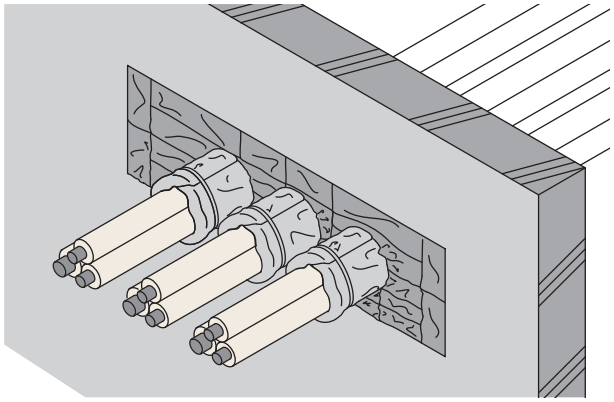
ロクマルマットと耐火ブロックの併用で簡単に施工できるので、施工時間を短縮できます。

③様々な構造・開口に対応可能

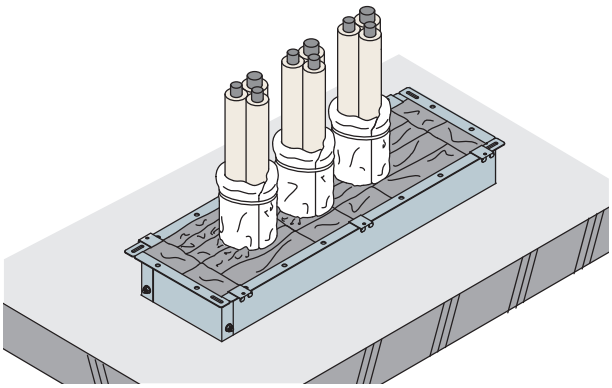
開口は、最大0.75m²まで対応。床は、鋼製スリーブにも対応。（鉄筋コンクリート床に限る。）



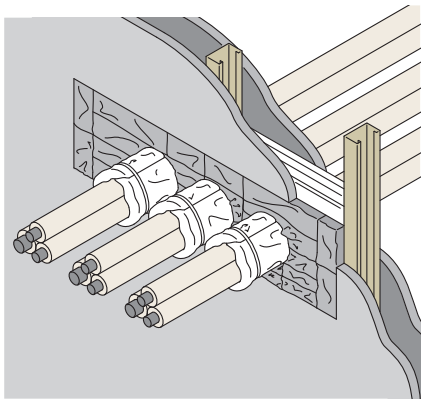
▶鉄筋コンクリート壁



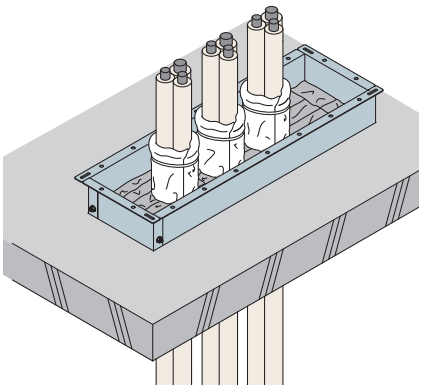
▶鉄筋コンクリート床（鋼製スリーブあり・上面施工）



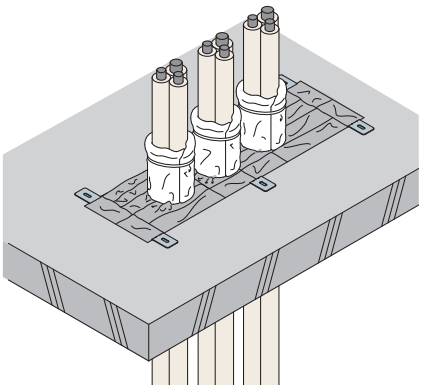
▶中空壁



▶鉄筋コンクリート床（鋼製スリーブあり・下面施工）



▶鉄筋コンクリート床（鋼製スリーブなし）



●詳しくは当社HPをご覧ください。　URL　http://www.furukawa-ftm.com/bousai/products/

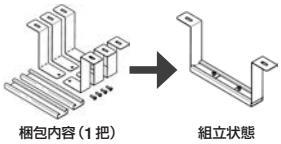
■品番および構成材料

品番	開口面積 (m²)	標準開口寸法 (mm)	ロクマルマットL※1 (枚)	隙間用スティック (本)	結束バンド (本)	耐火ブロック※2				補助充填材 (連)	支持板※3 (枚)	支持棒	支持板補修用アルミテープ (枚)	取扱説明書 (枚)	工法表示ラベル (枚)
						S	M	L	LL						
MT-016	～0.16	800×200	3	12	6	6	6	3	3	2	1	1	1	1	1
MT-020	～0.20	1000×200	4	16	8	8	7	5	3	2		2			
MT-024	～0.24	1200×200	5	20	10	12	8	5	4	3					

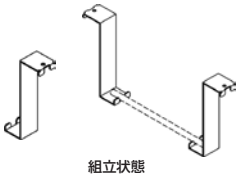
※1　ロクマルマットのサイズは全てLのみです。他のサイズ（S、M）をご入用の方は別途ロクマルマットをお買い求めください。
※2　占積率が20%以上の場合を想定した構成です。占積率が低く、耐火ブロックが不足する場合は、TB-003などをご購入ください。
※3　支持板の寸法は、標準開口寸法と同じになります。

■別売品

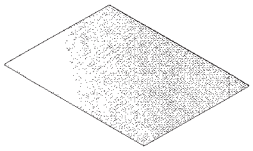
補助充填材セット
2連（20個）/袋
※P.80を参照ください。



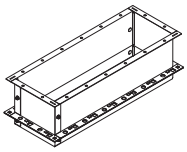
支持金具セット
（鋼製スリーブなし用）
1箱（5把）
※P.85を参照ください。



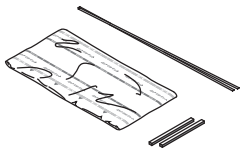
フック金具
（鋼製スリーブあり用）
30本/箱
※P.85を参照ください。



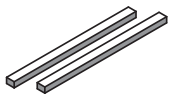
支持板（大板）
サイズ：900×1200×10（mm）
1枚　梱包質量：3kg
※P.82を参照ください。



鋼製スリーブAS
※P.88を参照ください。



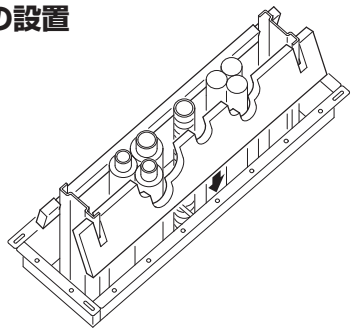
ロクマルマット（単品）
サイズ：S、M、L
1枚
付属品：結束バンド、隙間用スティック
※P.81を参照ください。



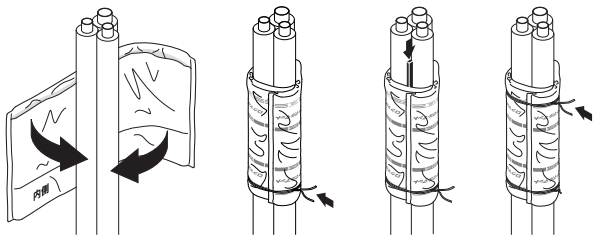
隙間用スティックセット
（ロクマルマット用）
20本
※P.81を参照ください。

■施工手順

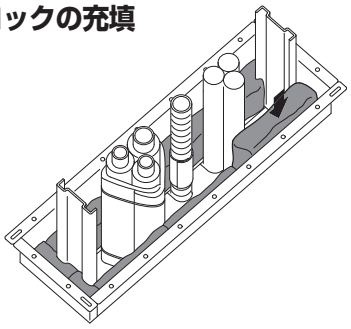
❶支持板の設置



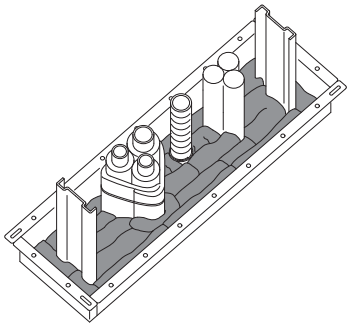
❷ロクマルマットの巻付け



❸耐火ブロックの充填



❹完了



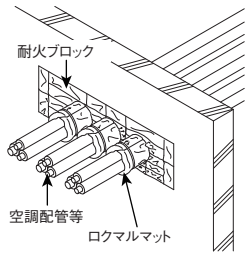
■認定条件（ケーブル・電線管・空調配管等貫通部　壁・床工法）

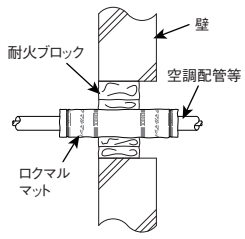
国土交通大臣認定番号		壁工法：PS060WL-0756　床工法：PS060FL-0772		
貫通部の構造	壁	建築基準法第2条第七号の規定に基づく耐火構造（60分） （例：鉄筋コンクリート壁、中空壁、ALC、床面配線（OAフロア）壁） 建築基準法施行令第115条の2の2第1項第一号の規定に基づく準耐火構造（60分）	厚さ	60mm 以上
		（壁厚が100mmを超える中空壁の場合は、鋼製または壁を構成する壁材と同等の材料による開口補強材を設けること）		
	床	鉄筋コンクリート（鋼製スリーブ※ありまたはなし） ALCパネル	厚さ	100mm 以上
		※鋼製スリーブ：鋼製　厚さ1.6mm 以上、床上突出し100mm 以下		
開口形状 および 最大開口面積		矩形　0.75m^2		
最大占積率		38.4%		
ケーブルラック		鋼製、ステンレス鋼製、アルミニウム合金製　　幅1220mm 以下×厚さ1.2mm 以上		
ワイヤーメッシュ状 ケーブルラック		鋼製、ステンレス鋼製 幅1216mm 以下× 線径φ4mm 以上、親筋間隔50mm 以下、子筋間隔125mm 以下		
最大ケーブル導体サイズ		6600V 1600mm^2　（電線管内及びロクマルマット内は、6600V 325mm^2）		

電線管	処理方法と適用サイズ					
	本製品のみ （耐火ブロック、補助充填材）	ロクマルシート（別売品）の巻付け数			ロクマルマット（別売品）	
		1周以上	2周以上	3周以上	単管	複数管
合成樹脂製可とう電線管 （CD管、PF管） ［JIS C 8411］	呼び径28以下（一段まで） 他の電線管内に通す場合 PF管：呼び径28以下 CD管：呼び径22以下	呼び径42 以下	呼び径54 以下	—	呼び径54以下	
波付硬質合成樹脂管 ［JIS C 3653付属書1（FEP）］	—	呼び径40 以下	呼び径65 以下	呼び径100 以下	呼び径50以下	
硬質塩化ビニル電線管 （VE）［JIS C 8430］	—	—	—	—	呼び径100 以下	呼び径22 以下
鋼製電線管 ［JIS C 8305 ］	呼び径104以下 （全長150mm以上）	端部が露出する場合：1周以上 壁：片側または両側、床：床上側			—	—
金属製可とう電線管 ［JIS C 8309 ］ （ビニル被覆あり又はなし）	呼び径101以下 （全長150mm以上）	端部が露出する場合：1周以上 壁：両側、床：床上側			—	—

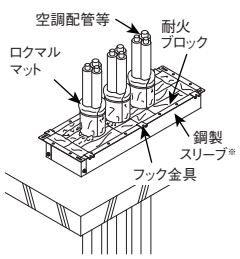
空調衛生設備配管	処理方法と適用サイズ（mm）			
	本製品のみ （ 耐火ブロック、補助充填材）	ロクマルマット（別売品）		
		巻付け条件	最大サイズ	被覆材※最大厚さ
銅管 ［JIS H 3300、3320］	—	複数管	φ54以下	38以下（合成ゴム系に限る）
			φ44.5以下	20以下
アルミニウム管［JIS H 4080］	—	複数管	φ38.1以下	20以下
硬質ポリ塩化ビニル管 （VP、HIVP、HT） ［JIS K 6741、6742、6776］	—	単管	呼び径100以下	—
			呼び径65以下	20以下
		複数管	呼び径25以下	6以下
結露防止層付硬質塩化ビニル管 ［外層：塩化ビニルスキン層 中間層：塩化ビニル発泡層 内層：硬質塩化ビニル層］	—	単管	φ76以下 （呼び径50以下）	—
	—	複数管	φ38以下 （呼び径25以下）	—
リサイクル硬質ポリ塩化ビニル 発泡三層管［JIS K 9798］	—	単管	φ114以下 （呼び径100以下）	—
被覆付可とう塩化ビニル管 （断熱ドレンホース） ［外層・内層：ポリ塩化ビニル樹脂 断熱層：ポリエチレンフォーム］	—	複数管	φ37以下 （呼び径25以下）	—
可とうポリエチレン管 （ドレンホース）	—	複数管	φ22以下 （呼び径16以下）	—
鋼管 ［JIS G 3442、3452、3454、 3455、3456、3458、3460］	φ101.6 以下（被覆材なし）	複数管	φ48.6以下	38以下（合成ゴム系に限る）
			φ42.7以下	20以下
ステンレス鋼管 ［JIS G 3447、3448、3459］	φ101.6 以下（被覆材なし）	複数管	φ50.8以下	38以下（合成ゴム系に限る）
			φ42.7以下	20以下

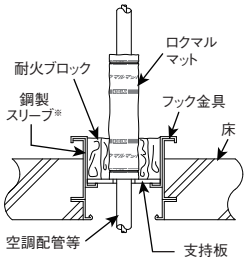
※被覆材の種類	発泡ポリエチレン系、発泡架橋ポリエチレン系、発泡ポリウレタン系、発泡ポリスチレン系、発泡ポリプロピレン系、発泡エチレンプロピレン系、発泡フェノール系、発泡シリコーン系、発泡難燃ポリオレフィン系（酸素指数28以上）、グラスウール（JIS A 9504）、ロックウール（JIS A 9504）、発泡合成ゴム系（ニトリル、ブチルゴム系）



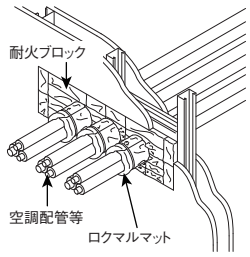


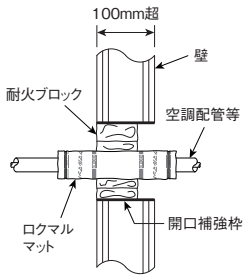
鉄筋コンクリート壁　PS060WL-0756



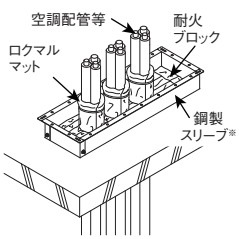


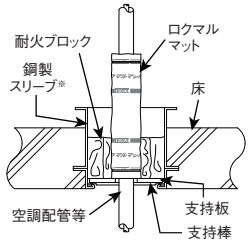
鉄筋コンクリート床（鋼製スリーブあり 上面施工）　PS060FL-0772



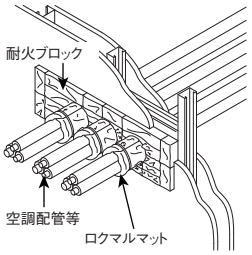


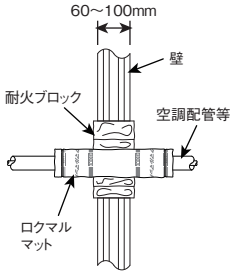
中空壁（壁厚100mm超）　PS060WL-0756



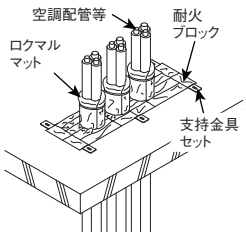


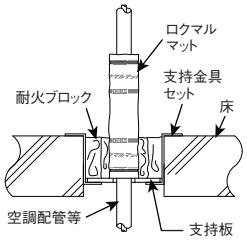
鉄筋コンクリート床（鋼製スリーブあり 下面施工）　PS060FL-0772





中空壁（中空壁60 ～ 100mm）　PS060WL-0756





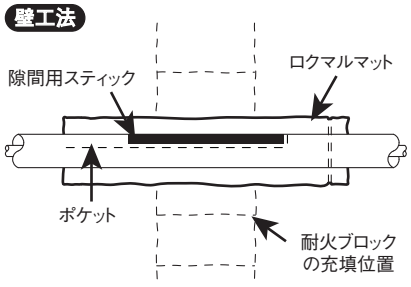
鉄筋コンクリート床（鋼製スリーブなし）　PS060FL-0772

※ 専用の鋼製スリーブ（AS-13020等）をご使用ください。

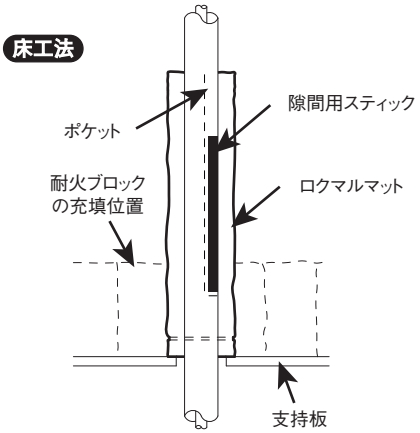
⚠ ロクマルマット施工時の注意

●ロクマルマットは、連結して使用できません。1箇所（1つの配管の束）に対して、1枚のロクマルマットで施工してください。
●ケーブルラックの子桁がある場合は、ロクマルマットが子桁の上にくるように巻き付けてください。
●ケーブルラックの親桁、鋼材、貫通物の支持金具等のケーブル・配管以外のものを一緒に巻き付けないでください。
●壁工法と床工法では、耐火ブロックとロクマルマットの位置関係が異なります。（下図参照）

壁工法

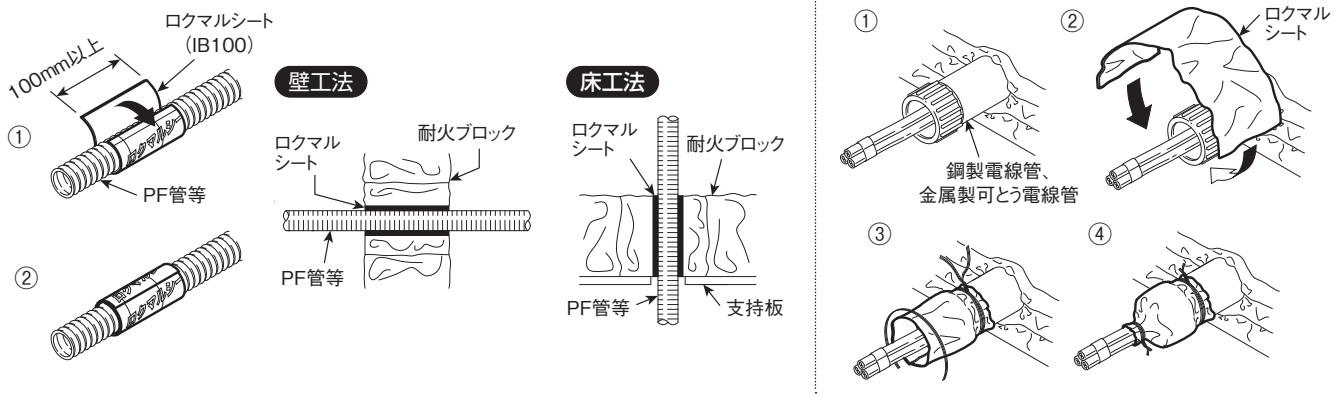


床工法



■ロクマルシート（別売品）の巻き付け

電線管は、ロクマルシート（別売品）が必要な場合があります。
施工手順の詳細は、「ロクマル大開口キット」の施工要領書、認定書などをご覧ください。



⚠ 注意

ロクマルマットの取扱いについて

1. ロクマルマットは、束ねられた配管の形状に合わせて変形させながら巻き付けてください。
2. ロクマルマットは、火災時の熱によって膨らみ、隙間を閉塞する機能がありますが、束ねられた配管の谷間部分の隙間に注意し、ていねいに施工してください。
3. ロクマルマットが配管に巻き付けにくい場合は、貫通部から離れた部分で一度巻き付けてクセを付けるなどして巻き付けやすくしてから施工してください。
4. ロクマルマットは、分解や切断をしないでください。また、破損したロクマルマットは、使用しないでください。
5. ロクマルマットを連結して使用しないでください。1箇所（1つの配管の束）に対して、1枚のロクマルマットで施工してください。
6. ケーブルラックの子桁がある場合は、ロクマルマットが子桁の上に来るように巻き付けてください。
7. ケーブルラックの親桁、鋼材、貫通物の支持金具等のケーブル・配管以外のものをケーブルや配管と一緒に巻き付けないでください。

耐火ブロックの取扱いについて

1. 耐火ブロック及び補助充填材は、火災時の熱によって膨らみ、隙間を閉塞する機能がありますが、「開口部に隙間無く詰める」ことを基本とし、ていねいに施工してください。
2. 大小の耐火ブロックは、開口部の状況に合わせて、適宜使い分け、曲げたり、圧縮したりしながら充填してください。
3. 耐火ブロックは、軽く引っ張っても抜けない程度に密に充填してください。充填量が不十分な場合、防火性能に影響する可能性があります。
4. 耐火ブロックが不足する場合には、品番TB-003 等をご用意ください。
5. 耐火ブロックは、分解や切断をしないでください。また、破損した耐火ブロックは、使用しないでください。

施工上の注意について

1. 仕上がり外観を重視するような場所では、施工後、必要に応じて化粧板等を使用してください。
2. 防水機能はありません。直接雨水等がかかったり、常に高湿度になったりするような場所には使用しないでください。必要な場合は、別途防水・撥水処理を行ってください。
3. ケーブルや配管類の支持機能は、ありません。別途固定支持を検討してください。
4. 防火措置部の上に乗らないようご注意ください。開口部を破壊して転落したり、隙間を生じて火炎が貫通する恐れがあります。

施工後の注意について

1. 空調配管や被覆材は、設備の稼働に伴って、熱伸縮が起こる場合があり、その影響でロクマルマットや耐火ブロックがずれる場合があります。防火措置材周辺では、配管の支持固定を適切に行ってください。
2. 検査等で防火措置材のずれが確認された場合は、適宜補修をしてください。度々ずれが生じる場合は、必要に応じて各部材のずれ対策を適宜ご検討ください。
3. バスダクトは、通電後の温度変化に伴って伸縮することがあります。この伸縮の影響により、耐火ブロックにずれや抜けが生じる恐れがありますので、施工後の定期的な検査などで、このような状態が確認された場合は、耐火ブロックを押し込むなどして適切な状態に戻してください。

改修時について

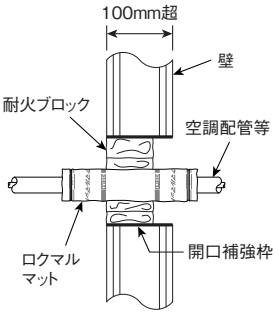
1. 下記のような状態の耐火ブロックは、新しいものに交換してください。
   （ア）包装材が破れて中が露出したもの。
   （イ）施工品質を保てないような変形をしているもの。
   （ウ）油などの異常な汚れがあるもの。
   （エ）水浸しになったもの。
2. 床工法の支持板が損傷している場合は、交換してください。
3. 再施工後は、工法表示ラベルを更新してください。

■壁工法について

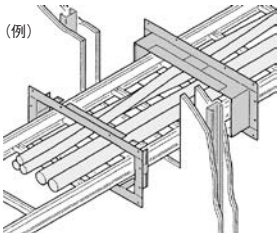
以下の場合は、あらかじめ処置をしてください。

【中空壁に施工する場合】

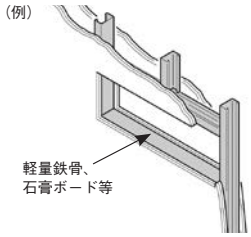
中空構造になった壁で、壁厚が100mmを超える場合、開口補強枠が必要です。開口補強枠が設置されて無い場合は、右記のいずれかの方法で開口補強枠を設置してください。



①鋼製枠の取り付け

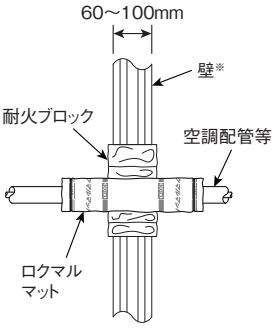


②壁材と同等の材料の枠を取り付け



【壁厚が薄い場合】

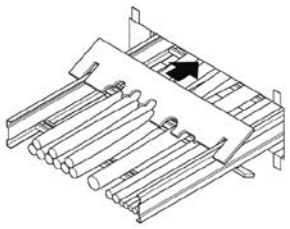
壁厚が100mm以下で薄い場合、壁が耐火ブロックの中央にくるように施工してください。その際、耐火ブロックが脱落する恐れがある場合は、支持材（アングル等）の設置などをご検討ください。



※片壁には適用できません。

【当て板が必要な場合】

開口高さが大きく、耐火ブロックが動いて詰めにくいときなどは、適宜同梱の支持板及び支持金具（別売品）を使用し、貫通部の配線状況に合わせて設置して、当て板とするなどの処置を行ってください。



空調、冷凍・冷蔵用配管用

イチジカン®APK

工法表示ラベル　製品に同梱

※紛失または再施工時の場合は、イントロ-4をご参照ください。

壁	RC	ALC	中空壁	片壁	ケーブル	合成樹脂製可とう電線管 PF管	合成樹脂製可とう電線管 CD管	バスダクト	鋼製電線管	冷媒管	給排水管
床	RC	ALC	—	—	ケーブル	合成樹脂製可とう電線管 PF管	合成樹脂製可とう電線管 CD管	バスダクト	鋼製電線管	冷媒管	給排水管

適用開口部サイズ　壁・床：φ75～160mm

国土交通大臣認定

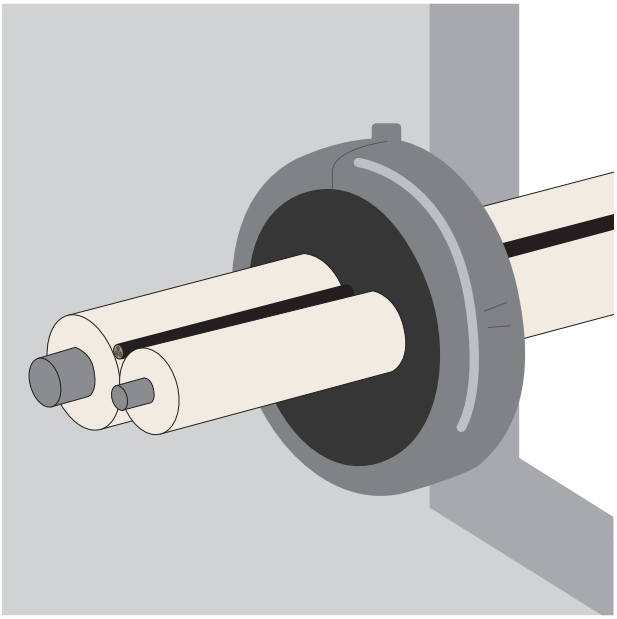
【壁】PS060WL-0686
【中空間仕切壁】PS060WL-0688
【片壁】PS060WL-0689
【床】PS060FL-0687

■特長

①１つのキットで幅広い防火区画に対応
鉄筋コンクリート・ALC壁，床、中空間仕切壁、片壁の貫通部に施工できます。

②開口の外側だけで施工完了
中空間仕切壁・片壁の場合でも、開口内にパテを充てんする必要がありません。

③空調、冷凍・冷蔵の各種配管（冷媒管、ドレン管）に対応可能



■認定条件

認定番号	PS060WL-0686	PS060FL-0687	PS060WL-0688	PS060WL-0689
壁および床の構造	鉄筋コンクリート壁 ALC壁 （軽量気泡コンクリート）	鉄筋コンクリート床 ALC床 （軽量気泡コンクリート）	中空間仕切壁 （両面せっこうボード重張）	片壁 （片面強化せっこうボード重張／軽量鉄骨下地間仕切壁）
壁および床の厚さ	100mm以上	100mm以上	80mm以上	42mm以上
開口径	円形φ160mm以下			
最大占積率	60.9%			

＊壁厚100mm以上の中空壁に施工する際には別途鋼製スリーブ（板厚0.25mm以上）が必要です。

●詳しくは当社HPをご覧ください。　URL　http://www.furukawa-ftm.com/bousai/products/

■適用配管

配管・ケーブルの種類	主な配管・ケーブル	最大サイズ（mm）		占積率
		配管・ケーブルサイズ	被覆材厚み	
銅管＊1）	被覆冷媒配管（被覆材：発泡ポリエチレン　他＊2））	φ50.8	20	60.9%以下
銅管	被覆冷媒配管（被覆材：発泡合成ゴム＊3））	φ54.0	38	
アルミニウム管	被覆冷媒配管（被覆材：発泡ポリエチレン）	φ38.1	20	
可とうポリエチレン管	ドレンホース	φ22	—	
被覆付可とう塩化ビニル管	断熱ドレンホース	φ37	6	
硬質ポリ塩化ビニル管	ドレンパイプ、VP管	VP50（φ60）	—	
被覆付硬質ポリ塩化ビニル管	断熱ドレンパイプ	VP50（φ60）	6	
結露防止層付硬質塩化ビニル管	エスロンACドレンパイプ＊4）など	50（φ76）	—	
金属強化ポリエチレン管＊5）	アルミ三層管	20（φ25.1）	20	
合成樹脂製可とう電線管	PF管、CD管	PF管 φ45.5、CD管 φ42	—	
ケーブル	IV、VVFなど	CV38mm²×3C 相当	—	

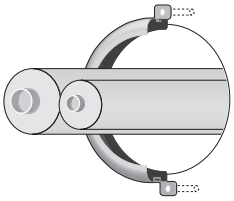
＊1）銅管の他に、鋼管・ステンレス鋼管も適用可能です。
＊2）被覆材の種類には、発泡ポリエチレン系、発泡架橋ポリエチレン系、発泡ポリウレタン系、発泡ポリスチレン系、発泡ポリプロピレン系、発泡フェノール系、発泡シリコーン系、発泡難燃ポリオレフィン系、発泡合成ゴム系（ニトリル、ブチルゴム系）、グラスウール、ロックウールなどが含まれます。
＊3）発泡ゴムの種類には、アーマフレックス、エアロフレックス、K-FLEXおよび同様品が含まれます。尚、この場合の占積率は、68.9%以下となります。
K-FLEXは、L' ISOLANTE K-FLEX srlの登録商標です。
＊4）エスロンは、積水化学工業株式会社の登録商標です。
＊5）金属強化ポリエチレンは、コンクリート、ALCの壁・床の場合にのみ適用可能です。

■品番および構成材料

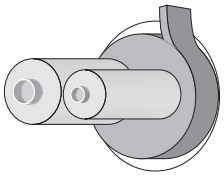
品番	適合開口径（mm）		熱膨張性パテ（枚）	小箱	標準価格（円/組）（税別）
	呼び径	穴径		梱包数（組）	
APK75	75	φ80以下	2	1	3,500
APK100	100	φ110以下	3		4,300
APK125	125	φ135以下	4		6,200
APK150	150	φ160以下	6		7,500

■施工手順

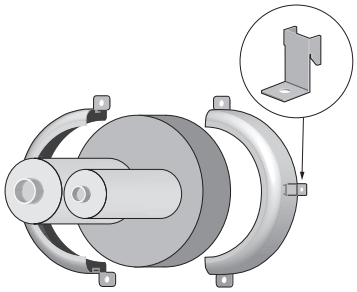
❶固定ネジ下孔の設置（コンクリートの場合）



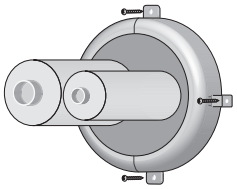
❷熱膨張性パテの巻き付け



❸金具の組み立て（中空壁の場合のみ、「中空壁用固定金具」の設置）



❹固定ネジの締め付け／施工完了



⚠ 注意

●本製品は、施工対象によって使用するビスが異なります。コンクリート・ALC用、中空壁・片壁用（せっこうボード用）それぞれのビスを適切に使用してください。
●中空壁の場合に限り、付属の「中空壁用固定金具」を取り付けてください。
また、中空壁への施工には別途、板厚0.25mm以上の開口補強枠（鋼製スリーブ）が必要です。
●配管サイズ・本数に対して、開口径（品番）が大きすぎると熱膨張性パテが不足する場合がありますので、ご注意ください。不足する場合は、別売の「追加用パテ（APK-BP）」をご使用ください。
●押さえ金具は壁・床面に対し、堅固に固定してください。万一、ビスがゆるい場合には下穴を開け直して、再度固定してください。
●共住区画・令8区画にはご使用できません。

●詳しくは当社HPをご覧ください。　URL　http://www.furukawa-ftm.com/bousai/products/

空調配管・電線管・衛生配管貫通部

工法表示ラベル 製品に同梱

※紛失または再施工時の場合は、イントロ-4をご参照ください。

イチジカン®耐火パック2（ツー）

					ケーブル	合成樹脂製可とう電線管 PF管	合成樹脂製可とう電線管 CD管	バスダクト	鋼製電線管	冷媒管	給排水管	FEP
壁	RC	ALC	中空壁	片壁								
床	RC	ALC	—	—								

国土交通大臣認定

【壁】PS060WL-0624、0674、0578
【床】PS060FL-0630、0734、0579

適用開口部サイズ　壁・床：φ50～160mm

■特長

①床スリーブ埋設に対応

通常丸穴開口だけでなく、開口設置や止水のための床スリーブ埋設部への対応が可能です。

②優れた施工性

手が汚れず工具不要、カンタン施工で工数削減

③狭小スペースも効率よく配置

金具同士の干渉がないので、開口が近接していても施工が可能です。

施工外観（冷媒管・床スリーブ）

施工外観（冷媒管・中空壁）

キット構成材料

■認定条件

	壁（PS060WL-0624）	壁（PS060WL-0674）	床（PS060FL-0630）	床（PS060FL-0734）
壁および床の構造	耐火構造（60分）および準耐火構造（60分）（準耐火構造：普通せっこうボード重張可）	準耐火構造（60分）（準耐火構造：両面強化せっこうボード重張に限る）	鉄筋コンクリート ALC（軽量気泡コンクリート）	
厚さ	80mm以上		100mm以上	
最大開口径	φ110mm	φ160mm		
最大占積率	56.7%	54.7% *1)		55.2%
鋼製スリーブ	中空壁の開口補強として要　厚さ0.25mm以上		—	ありまたはなし *2)

＊壁厚100mm以上の中空壁に施工する際には別途鋼製スリーブ（板厚0.25mm以上）が必要です。

■適用配管

ケーブル・配管種類	PS060WL-0624	PS060WL-0674	PS060FL-0630	PS060FL-0734
銅管＊3)	—	44.5mm以下		
アルミニウム管＊3)	—	15.9mm以下		
鋼管/ステンレス管＊3)	—	42.7mm以下		
硬質ポリ塩化ビニル管（VP、HIVP）＊3)	—	114mm以下＊4)		48mm以下＊5)
耐熱性ポリ塩化ビニル管（HT）＊3)	—	60mm以下＊4)		48mm以下＊5)
結露防止層付硬質塩ビ管	—	76mm以下		
可とうポリエチレン管	22mm以下			
合成樹脂製可とう電線管	42mm以下	PF64.5mm以下 CD42mm以下		—
波付硬質合成樹脂管	—	85mm以下		—
硬質塩化ビニル電線管（VE）	—	48mm以下		—
合成樹脂製可とう管	42mm以下			—
架橋ポリエチレン管/可とうポリエチレン管/ポリエチレン管＊3)	27mm以下			—
被覆付架橋ポリエチレン管/ポリエチレン管/ポリブテン管＊6)	31mm以下			—
金属強化ポリエチレン管＊3)	25.1mm以下			—
ステンレス鋼フレキシブル管	32.3mm以下			—
ガラス繊維強化ポリプロピレン管	—	125mm以下		—
被覆材＊7)	10mm以下	20mm以下＊8)		20mmまたは6mm以下＊8)
ケーブル（1本あたりの導体断面積）	38mm²以下	100mm²以下		38mm²以下

＊1）塩化ビニル管（VP、HIVP、HT）の組み合わせの場合：53.8%以下。被覆材発泡合成ゴムの銅管単管の場合：66.0%以下。GRP管単管の場合：61.0%以下。
＊2）鋼製スリーブありの場合の開口径は300mm以下、スリーブ外径が160mmとなります。床上スリーブ立上げ長は100mmまで、板厚は0.5mm以上となります。
＊3）被覆材（後付用）を用いることのできる配管。（最大被覆厚さは20mm）
＊4）被覆材（後付用）を用いた場合の配管外径は32mm以下となります。
＊5）被覆材（後付用）の厚さは6mm以下となります。
＊6）被覆材：オレフィン系など。
＊7）被覆材：発泡ポリエチレン系、発泡ポリウレタン系など。
＊8）被覆材：発泡合成ゴムの場合は38mm以下となります。

●詳しくは当社HPをご覧ください。　URL　http://www.furukawa-ftm.com/bousai/products/

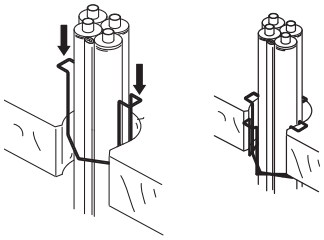
■品番および構成材料

品番	適合開口径（ボイド管呼び径）（mm）	構成材料							販売単位（組）	標準価格（円/組）（税別）
		耐火パック（袋）	支え金具（個）	バックアップ材（本）		押さえ金具（個）	取扱説明書（枚）	工法表示ラベル（枚）		
				200L	300L					
NPQ50	55以下（50）	1	1	1	—	1	1	1	1	2,600
NPQ75	80以下（75）			—	1					3,000
NPQ100	110以下（100）			2	—					3,700
NPQ125	135以下（125）		2	1	1					5,300
NPQ150	160以下（150）			—	2					6,500

■施工手順

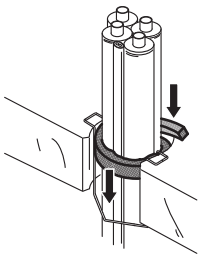
❶支え金具の設置

（NPQ125、150の場合）



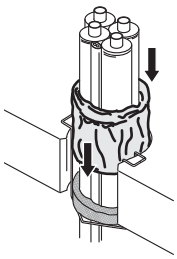
支え金具を配管の周りにセットし、開口部に落とし込みます。
（NPQ125、150の場合は、2個落とし込んでください）

❷バックアップ材の設置（壁工法では不要）



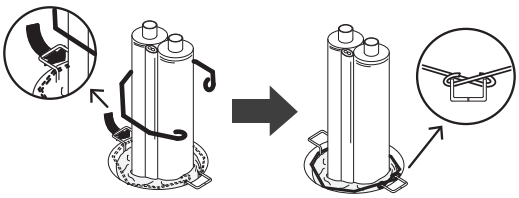
バックアップ材を配管周囲に巻き付け、
開口部に落とし込みます。

❸耐火パックの充填



耐火パックを配管周囲に巻き付け、
開口部に落とし込みながら充てんしてください。

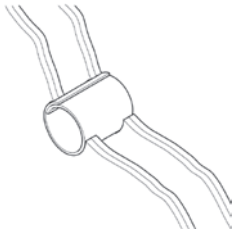
❹押さえ金具の設置　施工完了



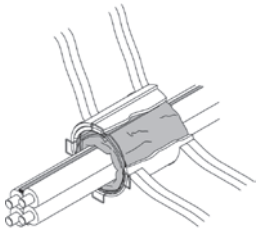
押さえ金具の端部を押し拡げ、支え金具と開口部の間に挿入します。
もう一方の端末を、支え金具にクロスしフッキングさせ完了です。

【中空壁に施工する場合】

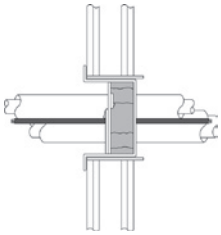
中空壁に施工する際には、あらかじめ貫通部に厚さ0.25mm以上の鋼板製スリーブ（当社製品「イチジカン-丸穴スリーブ」など）を設置する必要があります。



鋼板製スリーブの設置



中空壁への施工後（一例）



中空壁施工時の概略断面

⚠注意

- ●品番選定・施工にあたっては、別途認定書や施工要領書をよくお読みの上、最適な品番を選び正しく施工してください。
- ●耐火パックは柔軟性がありますので、分解・切断などせずそのままご使用ください。
  万一、耐火パックが破損した場合は、内容物が流れ出ないようにプラスチックテープなどで補修してご使用ください。
  また、その際に内容物が目に入った場合は、ただちに流水で洗い流し、医師の診断を受けてください。皮膚に付着した場合は、きれいにふき取った後せっけんなどでよく洗浄してください。
- ●開口径いっぱいに配管した場合施工できなくなることがあります。貫通する配管に対する開口部の大きさ（設計）には余裕を持たせてください。
- ●ドライバーなど、先端のとがったものを使用しての充填は行わないでください。耐火パックを破損するおそれがあります。
- ●耐火パックを所定位置に収めるためにも、押さえ金具は必ずご使用ください。また、床工法にはバックアップ材を必ずご使用ください（壁工法の場合はバックアップ材は不要です）。
- ●配管の支持・固定は貫通部前後で必ず行ってください。支持・固定が不十分な場合、耐火パックのズレや隙間を生ずることがあります。
- ●屋外でのご使用は直接日光や雨水があたらないように処置してください。
- ●電線・ケーブルのみが貫通する場合は、当社姉妹品「ロクマル丸穴キット」「イチジカンパット」「イチジカンマルユカ」のご使用をご検討ください。
- ●本製品は（一財）日本消防設備安全センターの評定を取得していません。同評定品をご入用の際は、当社姉妹品「ニジカン-APW」「ニジカン-APF」「イチジカン-HOLD」などのご使用をご検討ください。

●詳しくは当社HPをご覧ください。　URL　http://www.furukawa-ftm.com/bousai/products/

断熱被覆金属管・各種樹脂管（被覆付含む）合成樹脂製可とう電線管用

イチジカン®-耐火パック

工法表示ラベル 製品に同梱

※紛失または再施工時の場合は、イントロ-4をご参照ください。

壁	RC	ALC	中空壁	片壁	ケーブル	合成樹脂製可とう電線管 PF管	合成樹脂製可とう電線管 CD管	バスダクト	鋼製電線管	冷媒管	給排水管
床	RC	ALC	—	—	ケーブル	合成樹脂製可とう電線管 PF管	合成樹脂製可とう電線管 CD管	バスダクト	鋼製電線管	冷媒管	給排水管

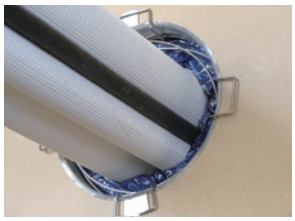
適用開口部サイズ　壁・床：φ50～160mm

国土交通大臣認定

【壁】PS060WL-0197、0318
【床】PS060FL-0181、0319

■特長

①施工時間を圧倒的に短縮できます。
②手を汚さず施工が可能です。
③貫通部間のスペースによらず施工が可能です。
④工具が一切不要です。
⑤施工に必要な部材をキット化しています。



施工外観（冷媒管・中空壁）

施工外観（PF管・RC床）

キット構成材料

■認定条件

	配管が1開口に複数貫通する場合		配管が1開口に1本のみ貫通する場合	
	壁（PS060WL-0197）	床（PS060FL-0181）	壁（PS060WL-0318）	床（PS060FL-0319）
壁および床の構造	準耐火構造（60分）および耐火構造（60分）（ただし、ケーブル・管の周囲に可燃物が存在する仕様を除く）	鉄筋コンクリート	耐火構造（60分）および準耐火構造（60分）（準耐火構造：両面強化せっこうボード重張に限る）	鉄筋コンクリート ALC（軽量気泡コンクリート）
厚さ	80mm以上	100mm以上	80mm以上	100mm以上
最大開口径	φ160mm	φ160mm	φ160mm	φ160mm
最大占積率	56.7%（発泡合成ゴム被覆銅管の場合、70.1%）		31.0%～57.8%（φ150～160mmの場合は31.0%～53.0%）	

＊壁厚100mm以上の中空壁に施工する際には別途鋼製スリーブ（板厚0.25mm以上）が必要です。

■適用配管

ケーブル・配管種類	配管が1開口に複数貫通する場合	配管が1開口に1本のみ貫通する場合
断熱被覆付金属管（冷媒管など）	金属管外径44.5mm以下、被覆厚30mm以下 *1)	—
断熱被覆付架橋ポリエチレン管	配管外径27mm以下、被覆厚20mm以下 *1)	—
断熱被覆付ポリブテン管	配管外径27mm以下、被覆厚20mm以下 *1)	—
断熱被覆付金属強化ポリエチレン管	配管外径27mm以下、被覆厚20mm以下 *1)	—
断熱被覆付硬質塩化ビニル管	配管外径32mm以下、被覆厚6mm以下 *1)	—
さや管	さや管外径42mm以下 *2)	—
挿入管　架橋ポリエチレン管 ポリブテン管 金属強化ポリエチレン管	配管外径27mm以下	
合成樹脂製可とう電線管	PF管：外径45mm以下 *3) CD管：外径42mm以下 *3)	PF管：外径116.5mm以下 *4) CD管：—
硬質塩化ビニル電線管（VE管、HIVE管）	—	外径89mm以下 *4)
硬質塩化ビニル管	配管外径32mm以下	配管外径114mm以下
結露防止層付硬質塩化ビニル管 *5)	—	配管外径76mm以下 *6)
架橋ポリエチレン管・ポリエチレン管	配管外径27mm以下	配管外径114mm以下
ポリブテン管	配管外径27mm以下	配管外径89mm以下 *7)
ポリプロピレン管（ガラス繊維強化タイプを含む）	—	配管外径114mm以下

＊1）導体断面積が1本あたり66mm²以下（1心あたり22mm²以下）、1開口あたり72mm²以下の電線・ケーブルを同時貫通可能。
＊2）導体断面積がさや管1本あたり11mm²以下、1開口あたり132mm²以下の電線・ケーブルをさや管内に同時貫通可能。
＊3）導体断面積が1本あたり66mm²以下（1心あたり22mm²以下）、1開口あたり132mm²以下の電線・ケーブルを合成樹脂製可とう電線管内に挿入可能。
＊4）導体断面積が1本（1開口）あたり325mm²以下の電線・ケーブルを合成樹脂製可とう電線管内に挿入可能。
＊5）積水化学工業株式会社「ACドレンパイプ」などを指します。
＊6）最大開口径はφ110mm以下となります。
＊7）最大開口径はφ135mm以下となります。

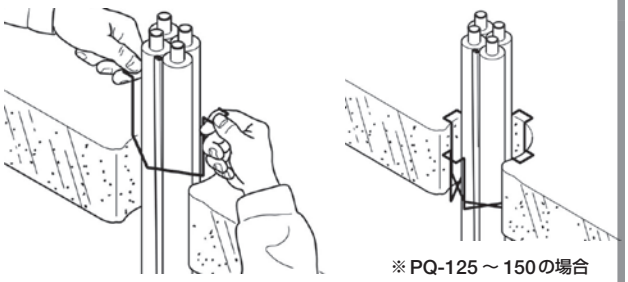
●詳しくは当社HPをご覧ください。　URL　http://www.furukawa-ftm.com/bousai/products/

■品番および構成材料

品番	適合開口径（ボイド管呼び径）（mm）	構成材料						販売単位（組）	標準価格（円/組）（税別）
		ヒートメルパック（袋）	支え金具（個）	床用シート（枚）	押さえ金具（個）	取扱説明書（枚）	工法表示ラベル（枚）		
PQ-50	55以下（50）	1	1	1	1	1	1	1	2,700
PQ-75	80以下（75）								3,200
PQ-100	110以下（100）								3,900
PQ-125	135以下（125）		2						5,600
PQ-150	160以下（150）								6,800

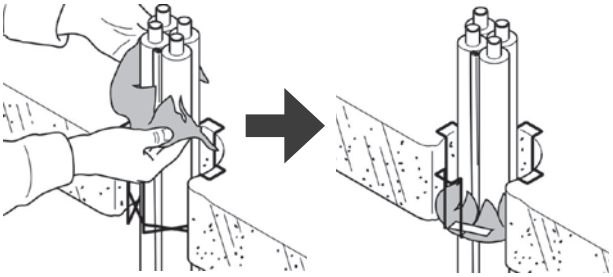
■施工手順

❶支え金具の設置

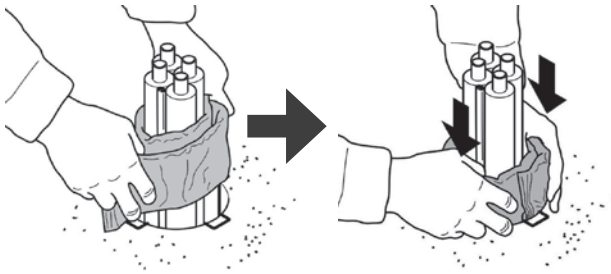


※PQ-125～150の場合

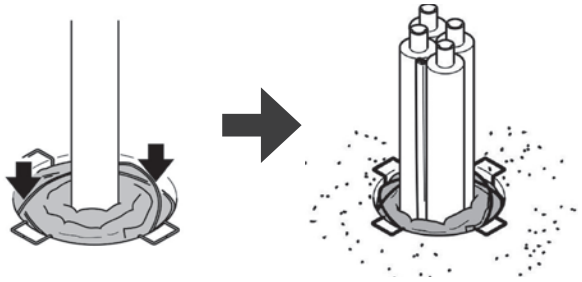
❷床用シートの設置（壁工法では不要）



❸ヒートメルパックの充填

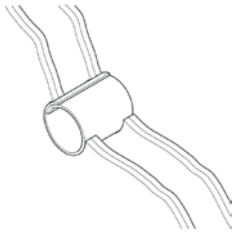


❹押さえ金具の設置　施工完了

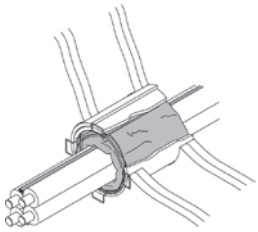


【中空壁に施工する場合】

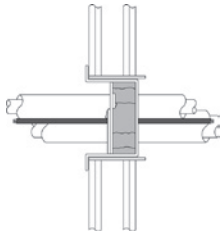
中空壁に施工する際には、あらかじめ貫通部に厚さ0.3mm以上の鋼板製スリーブ（当社製品「イチジカン-丸穴スリーブ」など）を設置する必要があります。



鋼板製スリーブの設置



中空壁への施工後（一例）



中空壁施工時の概略断面

⚠ 注意

- ●品番選定・施工にあたっては、別途認定書や施工要領書をよくお読みの上、最適な品番を選び正しく施工してください。
- ●ヒートメルパックは柔軟性がありますので、分解・切断などせずそのままご使用ください。
- ●万一ヒートメルパックを破損した場合は、内容物が流れ出ないようにプラスチックテープなどで補修してご使用ください。
  またその際に内容物が目に入った場合は、ただちに流水で洗い流し、医師の診断を受けてください。皮膚に付着した場合は、きれいにふき取った後せっけんなどでよく洗浄してください。
- ●開口径いっぱいに配管した場合施工できなくなることがあります。貫通する配管に対する開口部の大きさ（設計）には余裕を持たせてください。
- ●ドライバーなど、先端のとがったものを使用しての充填は行わないでください。ヒートメルパックを破損するおそれがあります。
- ●ヒートメルパックを所定位置に収めるためにも、押さえ金具は必ずご使用ください。また、床工法には床用シートを必ずご使用ください（壁工法の場合は不要です）。
- ●配管の支持・固定は貫通部前後で必ず行ってください。支持・固定が不十分な場合、ヒートメルパックのズレや隙間を生ずることがあります。
- ●屋外でのご使用はおやめください。
- ●電線・ケーブルのみが貫通する場合は、当社姉妹品「ロクマル丸穴キット」「イチジカンパット」「イチジカンマルユカ」のご使用をご検討ください。
- ●本製品は（一財）日本消防設備安全センターの評定を取得していません。同評定品をご入用の際は、当社姉妹品「ニジカン-APW」「ニジカン-APF」「イチジカン-HOLD」などのご使用をご検討ください。

●詳しくは当社HPをご覧ください。　URL　http://www.furukawa-ftm.com/bousai/products/

断熱被覆金属管・各種樹脂管（被覆付含む）合成樹脂製可とう電線管用

ニジカン®-APW

壁	RC	ALC	中空壁	片壁	ケーブル	合成樹脂製可とう電線管 PF管	合成樹脂製可とう電線管 CD管	バスダクト	鋼製電線管	冷媒管	給排水管
床	RC	ALC	—	—	ケーブル	合成樹脂製可とう電線管 PF管	合成樹脂製可とう電線管 CD管	バスダクト	鋼製電線管	冷媒管	給排水管

適用開口部サイズ　壁：φ50 ～ 160mm

工法表示ラベル　消防評定プレート　請求書で請求（施工完了写真：不要）

※紛失または再施工時の場合は、イントロ-4をご参照ください。

国土交通大臣認定

【壁】PS060WL-0455

（一財）日本消防設備安全センター評定

【壁】　KK21-007号（共住区画）
【中空壁】KK21-008号（共住区画）

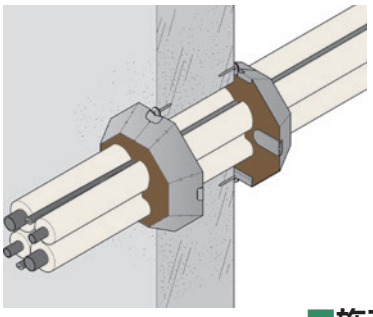
■特長

①多種配管対応

各種設備配管の耐火壁（中空壁など）貫通部に施工できます。（準耐火（60分）壁構造は強化せっこうボード重張に限ります。また、中空壁には別途鋼製スリーブが必要です。）

②高占積率・省スペース化

開口内占積率67%を実現し、開口スペースを有効に活用できます。



キット構成材料

■認定条件

壁の構造	国土交通大臣が認定した耐火構造 厚さ100mm以上および両面強化せっこうボード重張軽量鉄骨下地間仕切壁（準耐火構造）：厚さ100mm以上
適用開口部	円形：φ160mm以下
最大占積率	67%

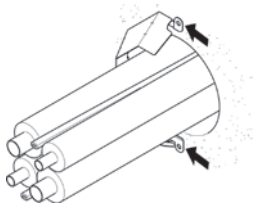
＊壁厚100mm以上の中空壁に施工する際には別途鋼製スリーブ（板厚0.25mm以上）が必要です。

■適用配管

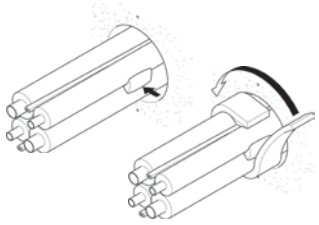
ケーブル・配管種類	配管サイズ（mm）
電線・ケーブル	導体断面積38mm²以下
断熱被覆銅管	銅管外径44.5、被覆厚さ20以下
断熱被覆架橋ポリエチレン管	呼び径20、被覆厚さ20以下
断熱被覆ポリブテン管	呼び径20、被覆厚さ20以下
断熱被覆金属強化ポリエチレン管	呼び径20、被覆厚さ30以下
さや管	さや管外径：呼び径36以下 内管：架橋ポリエチレン管、ポリブテン管、金属強化ポリエチレン管
合成樹脂製可とう電線管	呼び径42以下（PF管、CD管）
塩化ビニル電線管	呼び径82以下
塩化ビニル管	呼び径100以下（呼び径25以下の場合、被覆厚さ6以下）
ポリエチレン管	呼び径100以下
ABS樹脂管	呼び径100以下

■施工手順

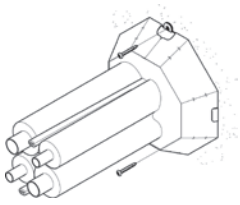
❶固定ネジ下孔の設置



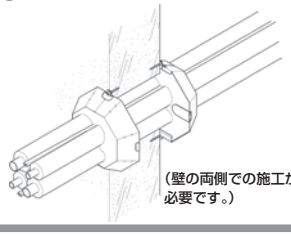
❷ヒートメルパテの巻き付け



❸固定ネジの締め付け



❹施工完了



（壁の両側での施工が必要です。）

■品番および構成材料

品番	適合開口径（mm）		構成材料		小箱	標準価格（円/組）（税別）
	ボイド管（仕上がり径）	コアドリル	押さえ金具（枚）	ヒートメルパテ（パテ支持板）（枚）	梱包数（組）	
APW-50055	50（55）	55	4	3（0）	1	5,100
APW-75080	75（80）	80	4	6（4）	1	6,900
APW-100110	100（110）	110	4	10（4）	1	8,900
APW-125135	125（135）	135	4	14（4）	1	12,300
APW-150160	150（160）	160	4	18（4）	1	14,400

⚠ 注意

- ●中空壁に使用する場合は、厚さ0.4mm以上の鋼板製スリーブが必要になります。
- ●配管サイズ・本数に対して開口径（品番）が大きすぎると、ヒートメルパテが不足する場合があります。万一不足が生じた場合は別売品をご購入ください。
- ●配管の支持・固定は貫通部の前後で別途確実に行ってください。支持・固定が不十分な場合、ヒートメルパテがずれたり隙間が生じるおそれがあります。

●詳しくは当社HPをご覧ください。　URL　http://www.furukawa-ftm.com/bousai/products/

断熱被覆金属管・各種樹脂管（被覆付含む）合成樹脂製可とう電線管用
ニジカン®-APF

工法表示ラベル　消防評定プレート　請求書で請求（施工完了写真：不要）

※紛失または再施工時の場合は、イントロ-4をご参照ください。

壁	RC	ALC	中空壁	片壁	ケーブル	合成樹脂製可とう電線管 PF管	合成樹脂製可とう電線管 CD管	バスダクト	鋼製電線管	冷媒管	給排水管
床	RC	ALC	—	—	ケーブル	合成樹脂製可とう電線管 PF管	合成樹脂製可とう電線管 CD管	バスダクト	鋼製電線管	冷媒管	給排水管

適用開口部サイズ　床：φ75～160mm

国土交通大臣認定

【床】PS060FL-9053

（一財）日本消防設備安全センター評定

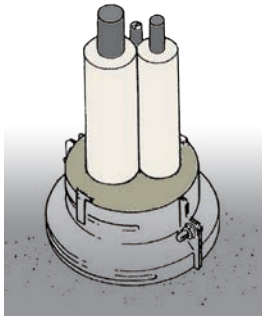
【床】KK19-088号（共住区画）

■特長

①多種配管対応
あらゆる配管の床貫通部に施工できます。

②熱膨張材使用
高性能熱膨張材の採用で配管の占積率が大幅にアップしました。

③簡単施工
ベース金具を入れ、耐熱シール材と押さえ金具を取り付けるだけです。



キット構成材料

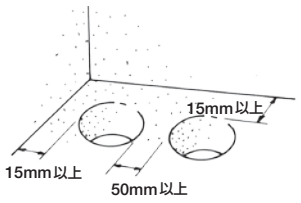
■適用配管

配管種類	配管サイズ（呼び径/mm）	最大占積率（%）	付帯条件
断熱被覆銅管	最大：銅管外径44.5 断熱被覆20まで可	52	付随する電線・ケーブルドレン管可
断熱被覆 架橋ポリエチレン管	最大：呼び径20 断熱被覆20まで可	47	付随する電線・ケーブル可
断熱被覆 ポリブテン管	最大：呼び径20 断熱被覆20まで可	47	付随する電線・ケーブル可
断熱被覆金属強化 ポリエチレン管	最大：呼び径20 断熱被覆20まで可	47	付随する電線・ケーブル可
さや管 内管： 架橋ポリエチレン管 ポリブテン管 金属強化ポリエチレン管	最大：呼び径36まで可 内管（2本以下）： 呼び径20まで可	39	付随する電線・ケーブル可
合成樹脂製 可とう電線管	最大： 呼び径42まで可	30	電線・ケーブルの導体断面積： 100mm²以下/ 配管 183mm²以下/ 開口
架橋ポリエチレン管	最大： 呼び径100まで可	51	—
ポリブテン管	最大： 呼び径100まで可	51	—
塩化ビニル管（HIVPを含む）	最大： 呼び径100まで可	51	—
ポリエチレン管	最大： 呼び径100まで可	51	—
ポリプロピレン管（GRPを含む）	最大： 呼び径100まで可	51	—

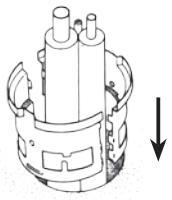
壁：鉄筋コンクリート
厚さ：100mm以上

■施工手順

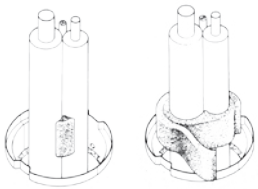
❶開口部の設置



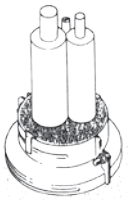
❷ベース金具の取り付け



❸ダンシール-Pの巻き付け



❹施工完了



■品番および構成材料

品番	適合開口径（mm）		構成材料				小箱	標準価格（円/組）（税別）
	ボイド管（仕上がり径）	コアドリル	押さえ金具（枚）	ベース金具（枚）	パテ支持板（枚）	ダンシール-P（枚）	梱包数（組）	
APF-75	75（80）	80	2	2	4	4	1	5,000
APF-100	100（106）	110	2	2	4	5	1	5,800
APF-125	125（131）	135	2	2	6	7	1	8,300
APF-150	150（157）	160	2	2	6	9	1	10,000

⚠注意

- ●配管サイズ・本数に対して開口径（品番）が大きすぎると、ダンシール-Pが不足する場合があります。万一不足が生じた場合は別売品をご購入ください。
- ●配管の支持・固定は貫通部の前後で別途確実に行ってください。支持・固定が不十分な場合、ダンシール-Pがずれたり隙間が生じるおそれがあります。
- ●スラブの厚みによっては、階下から見上げたときにベース金具と天井面に凹みを生じますが、防火性能上問題はありません。

●詳しくは当社HPをご覧ください。　URL　http://www.furukawa-ftm.com/bousai/products/

さや管・各種樹脂管（被覆付含む）合成樹脂製可とう電線管用

イチジカン®-HOLD（品番HD-S、HD-L）

	RC	ALC	中空壁	片壁	ケーブル	合成樹脂製可とう電線管 PF管	合成樹脂製可とう電線管 CD管	バスダクト	鋼製電線管	冷媒管	給排水管
壁	RC	ALC	中空壁	片壁	ケーブル	PF管	CD管	バスダクト	鋼製電線管	冷媒管	給排水管
床	RC	ALC	—	—	ケーブル	PF管	CD管	バスダクト	鋼製電線管	冷媒管	給排水管

適用開口部サイズ　円形：φ300mm以下※　矩形：0.07m²以下

※PS060WL-0675、FL-0625は、φ220mm以下

工法表示ラベル　製品に同梱　消防評定プレート　請求書で請求（施工完了写真：不要）

※紛失または再施工時の場合は、 イントロ-4をご参照ください。

国土交通大臣認定

【壁】PS060WL-0305、0544、0675
【床】PS060FL-0298、0554、0625

（一財）日本消防設備安全センター評定

【壁】　KK19-085号、KK23-009号（共住区画）
【壁】　KK25-006号（共住区画）
【中空壁】KK19-086号（共住区画）
【床】　KK19-084号、KK23-016号（共住区画）
【床】　KK24-018号（共住区画）

■特長

①簡単施工

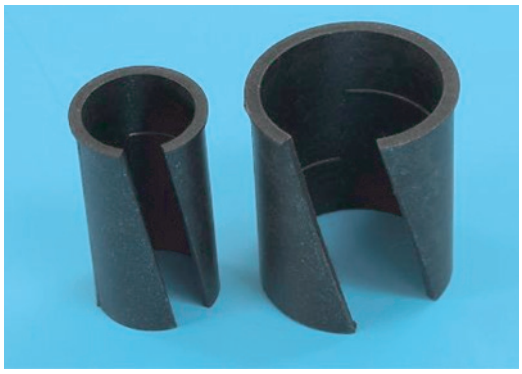
本体の長手方向開口部を配管に合わせて押し込むだけで取り付け完了します。

②多サイズ対応

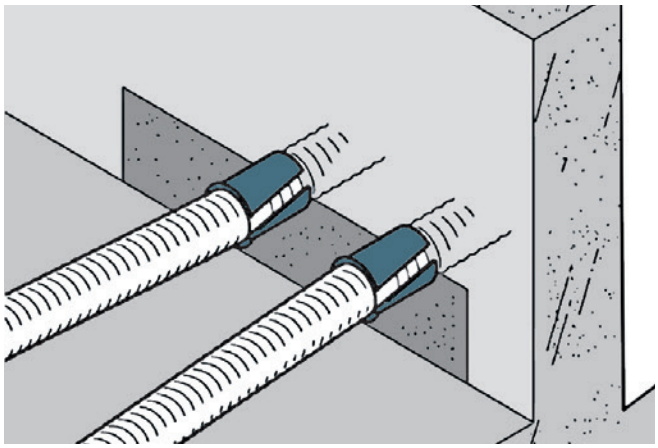
２品番で幅広い配管径（φ13～φ48）まで対応しています。

③片側施工

壁の片側、床上側からの施工のみです。

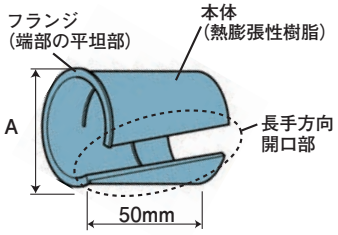


HD-S、HD-L



■品番および構成材料

品番	A寸法（mm）	厚さt（mm）	梱包数（個／袋）	標準価格（円／袋）（税別）
HD-S	26.5	1.5	10	8,500
HD-L	39	2.0	10	11,000



■適用配管

		HD-S	HD-L	付帯条件
適用配管外径	適用箇所	13～32mm	33～48mm	
配管種類		配管サイズ（呼び径/mm）		
さや管 挿入管：架橋ポリエチレン管 *） ポリブテン管 金属強化ポリエチレン管 ステンレス鋼フレキシブル管	壁・床	16/18/22/25 24×36（外径）	28/30/36 27×40（外径）	電線・ケーブル1本当りの導体断面積：5.5mm² 以下 挿入管呼び径20まで（金属強化ポリエチレン管は呼び径13、ステンレス鋼フレキシブル管は呼び径25まで）
架橋ポリエチレン管		10/13/16/20	25	–
ポリブテン管		10/13/16/20	–	–
硬質塩化ビニル管（HIVP含む）		10/13/16/20	25/30	–
ステンレス鋼フレキシブル管		10/13/16/20	25	–
ポリプロピレン管		10/13/16/20	25	–
被覆付樹脂管・さや管（被覆込みの外径）		13～32	33～48	樹脂管呼び径20・さや管呼び径22（被覆厚10mm）まで
合成樹脂製可とう電線管（CD管、PF管）		14/16/22	28/36	電線・ケーブル1本当りの導体断面積：22mm² 以下 総導体断面積：66mm² 以下
硬質塩化ビニル電線管（HIVE含む）		14/16/22	28	電線・ケーブル1本当りの導体断面積：22mm² 以下 総導体断面積：66mm² 以下
発泡ポリエチレン被覆付ポリエチレン層付銅管（壁貫通部分）	壁	–	13	被覆厚10mm

*）さや管36に架橋ポリエチレン管（呼び径10以下）が3本挿入されたものを使用できます（コンクリート・ALCの壁・床の場合のみ）。

●詳しくは当社HPをご覧ください。　URL　http://www.furukawa-ftm.com/bousai/products/

■認定条件

国土交通大臣認定

認定番号	PS060WL-0305（壁）	PS060WL-0544（壁）	PS060WL-0675（壁）	PS060FL-0298（床）	PS060FL-0554（床）	PS060FL-0625（床）
最大開口径・断面積（形状）	円形 φ300mm 矩形 0.07m²	円形 φ300mm 矩形 0.07m²	円形 φ220mm 矩形 0.07m²	円形 φ300mm 矩形 0.07m²	円形 φ300mm 矩形 0.07m²	円形 φ220mm 矩形 0.07m²
壁・床の構造など	鉄筋コンクリート ALC（軽量気泡コンクリート） 国土交通大臣耐火認定壁（60分耐火、中空壁含む）または準耐火認定壁（60分準耐火、両面強化せっこうボード重張に限る）	鉄筋コンクリート ALC（軽量気泡コンクリート）	鉄筋コンクリート ALC（軽量気泡コンクリート）	鉄筋コンクリート ALC（軽量気泡コンクリート）	鉄筋コンクリート ALC（軽量気泡コンクリート）	鉄筋コンクリート ALC（軽量気泡コンクリート）
最大占積率（%）	円形 41.2 矩形 51.4	34.9	43.8	円形 42.4 矩形 51.3	32.9	43.8
壁・床の厚さ	100mm以上	100mm以上	100mm以上	100mm以上	100mm以上	100mm以上

＊壁厚100mm以上の中空壁に施工する際には別途鋼製スリーブ（板厚0.25mm以上）が必要です。

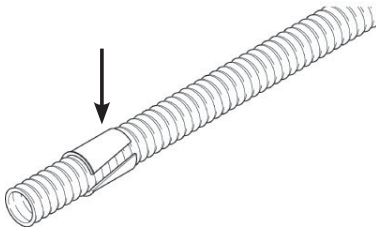
■評定条件

（一財）日本消防設備安全センター評定（共住区画）

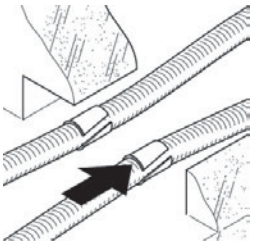
評定番号	KK19-085号（壁）	KK19-086号（中空壁）	KK23-009号（壁）	KK25-006号（壁）	KK19-084号（床）	KK23-016号（床）	KK24-018号（床）
最大開口径・断面積（形状）	円形 φ300mm 矩形 0.07m²	円形 φ300mm 矩形 0.07m²	円形 φ300mm 矩形 0.07m²	円形 φ220mm 矩形 0.07m²	円形 φ300mm 矩形 0.07m²	円形 φ300mm 矩形 0.07m²	円形 φ220mm 矩形 0.07m²
壁・床の構造など	鉄筋コンクリート ALC（軽量気泡コンクリート）	国土交通大臣耐火認定壁（中空壁含む）	鉄筋コンクリート ALC（軽量気泡コンクリート）	鉄筋コンクリート ALC（軽量気泡コンクリート）	鉄筋コンクリート ALC（軽量気泡コンクリート）	鉄筋コンクリート ALC（軽量気泡コンクリート）	鉄筋コンクリート ALC（軽量気泡コンクリート）
壁・床の厚さ	100mm以上	100mm以上	100mm以上	100mm以上	100mm以上	100mm以上	100mm以上

■施工手順

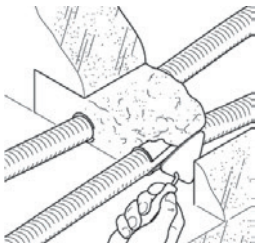
❶取り付け



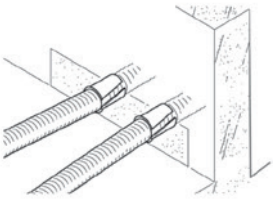
❷設置位置の決定



❸モルタル埋め



❹施工完了



⚠ 注意

- ●適用配管以外は施工できません。
- ●中空壁への施工の場合は、開口部に0.3mm厚以上の鋼板スリーブを設置してください。
- ●モルタルの埋め戻しは丁寧に行い、十分密に充填してください。その際には配管とイチジカン-HOLDとの間にモルタルが入らないように十分ご注意ください。
- ●床への施工の際には、あらかじめモルタル受け（市販品も可）をつけるとモルタル充填が楽に行えます。
- ●イチジカン-HOLDには配管の支持機能はありません。配管の支持固定は貫通部の前後で別途、確実に行ってください。
- ●配管サイズや施工場所の条件によっては、配管とイチジカン-HOLDとの間に微小の隙間を生じることがありますが、耐火性能上問題ありません。外観的に気になる場合は市販のコーキング材などで表面の隙間をシールしてください。
- ●本製品は、配管径と適用品番の組合せによっては、適切な品番選定を行った場合でも長手方向開口部（本体のスリット部）が大きく開く場合がありますが、同構造にて国土交通大臣認定・（一財）日本消防設備安全センター評定認証を取得しており、火災時には本体が膨張し隙間を埋めますので、耐火性能上の問題はありません。

●詳しくは当社HPをご覧ください。　URL　http://www.furukawa-ftm.com/bousai/products/

各種樹脂管用

イチジカン®-HOLD（品番HD-LL）

壁	RC	ALC	中空壁	片壁	ケーブル	合成樹脂製可とう電線管 PF管	合成樹脂製可とう電線管 CD管	バスダクト	鋼製電線管	冷媒管	給排水管
床	RC	ALC	—	—	ケーブル	合成樹脂製可とう電線管 PF管	合成樹脂製可とう電線管 CD管	バスダクト	鋼製電線管	冷媒管	給排水管

適用開口部サイズ　円形：φ300mm以下※　矩形：0.07m²以下

※PS060WL-0675は、φ220mm以下

工法表示ラベル　製品に同梱　消防評定プレート　請求書で請求（施工完了写真：不要）

※紛失または再施工時の場合は、 イントロ-4をご参照ください。

国土交通大臣認定

【壁】PS060WL-0544
【壁】PS060WL-0675
【床】PS060FL-0554

（一財）日本消防設備安全センター評定

【壁】KK23-009号（共住区画）
【壁】KK25-006号（共住区画）
【床】KK23-016号（共住区画）

■特長

①簡単施工

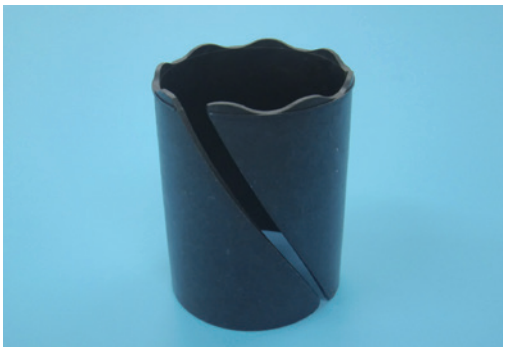
配管１本につき１個の製品を取り付け、周囲をモルタルで埋め戻すだけ。簡単に施工できる製品です。

②適用サイズ

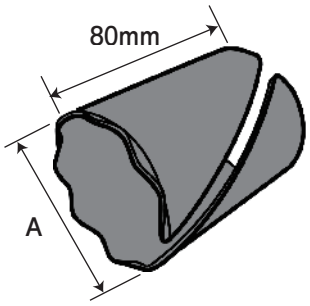
最大φ69mmまでの樹脂管に対応できます。

③片側施工

壁の片側、床上側からの施工だけで確実な防火性能を発揮します。



HD-LL



■品番および構成材料

品番	A寸法（mm）	厚さt（mm）	梱包数（個／袋）	標準価格（円／袋）（税別）
HD-LL	65.2	2.1	10	14,000

■適用配管

配管種類	適用箇所	適用最大配管サイズ	１開口に貫通可能な本数*） 本数
被覆付金属強化ポリエチレン管（アルミ三層管など）	壁	呼び径20、被覆厚20mm	3本以下
架橋ポリエチレン管	壁	呼び径20、被覆厚20mm	1本
ポリブテン管	壁	呼び径20、被覆厚20mm	1本
硬質塩化ビニル管（HIVP、HTVP含む）	壁・床	呼び径50	1本
水道配水用ポリエチレン管（JWWA K144、PWA-001）	壁・床	呼び径50	1本
結露防止層付硬質塩化ビニル管（積水化学工業株式会社「ACドレンパイプ」など）	壁・床	呼び径50	1本
被覆付さや管 挿入管　架橋ポリエチレン管 金属強化ポリエチレン管	壁・床	さや管呼び径28、被覆厚10mm（挿入管呼び径20）	3本以下（さや管1本につき挿入管1本）
被覆付さや管 挿入管　ポリエチレン層付銅管	壁	さや管呼び径25 被覆厚10mm （挿入管呼び径13）	2本以下（さや管1本につき挿入管1本）
発泡ポリエチレン被覆付ポリエチレン層付銅管	壁	呼び径13、被覆厚20mm	2本以下

*）開口に貫通可能な本数は、１開口に対して同時に貫通できる本数を示します。
（一財）日本消防設備安全センター評定にのみ適用されます。建築基準法に基づく防火区画貫通部に用いる場合は最大占積率の範囲内ならば１開口に貫通する本数の上限はありません。

■認定条件

国土交通大臣認定

認定番号	PS060WL-0544（壁）		PS060WL-0675（壁）		PS060FL-0554（床）	
最大開口径・断面積（形状）	円形	φ300mm	円形	φ220mm	円形	φ300mm
	矩形	0.07m^2	矩形	0.07m^2	矩形	0.07m^2
壁・床の構造など	鉄筋コンクリート ALC（軽量気泡コンクリート）		鉄筋コンクリート ALC（軽量気泡コンクリート）		鉄筋コンクリート ALC（軽量気泡コンクリート）	
最大占積率（%）	34.9		43.8		32.9	
壁・床の厚さ	100mm以上		100mm以上		100mm以上	

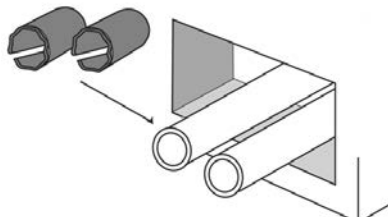
■評定条件

（一財）日本消防設備安全センター評定（共住区画）

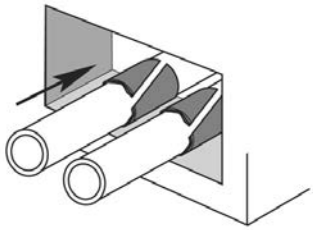
評定番号	KK23-009号（壁）		KK25-006号（壁）		KK23-016号（床）	
最大開口径・断面積（形状）	円形	φ300mm	円形	φ220mm	円形	φ300mm
	矩形	0.07m^2	矩形	0.07m^2	矩形	0.07m^2
壁・床の構造など	鉄筋コンクリート ALC（軽量気泡コンクリート）		鉄筋コンクリート ALC（軽量気泡コンクリート）		鉄筋コンクリート ALC（軽量気泡コンクリート）	
壁・床の厚さ	100mm以上		100mm以上		100mm以上	

■施工手順

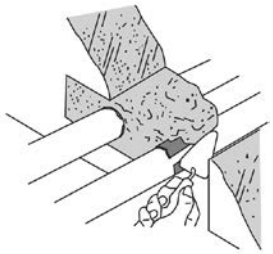
❶取り付け



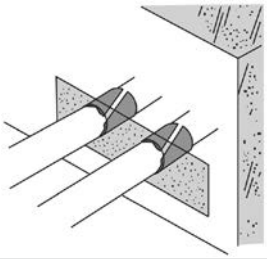
❷設置位置の決定



❸モルタル埋め



❹施工完了



⚠ 注意

- ●適用配管以外は施工できません。
- ●モルタルの埋め戻しは丁寧に行い、十分密に充填してください。その際には配管とイチジカン-HOLDとの間にモルタルが入らないように十分ご注意ください。
- ●床への施工の際には、あらかじめモルタル受け（市販品も可）をつけるとモルタル充填が楽に行えます。
- ●イチジカン-HOLDには配管の支持機能はありません。配管の支持固定は貫通部の前後で別途、確実に行ってください。
- ●配管サイズや施工場所の条件によっては、配管とイチジカン-HOLDとの間に微小の隙間を生じることがありますが、耐火性能上問題ありません。外観的に気になる場合は市販のコーキング材などで表面の隙間をシールしてください。
- ●セットする配管の外径が60mm未満の場合、本体が重なるように配管に設置し、ビニルテープなどで固定してください。
- ●本製品は、配管径と適用品番の組合せによっては、適切な品番選定を行った場合でも長手方向開口部（本体のスリット部）が大きく開く場合がありますが、同構造にて国土交通大臣認定・（一財）日本消防設備安全センター評定認証を取得しており、火災時には本体が膨張し隙間を埋めますので、耐火性能上の問題はありません。